

平成31年度事業計画

※（ ）内は前年度予算

[I] コンベンション推進事業

399万円（453万円）

長岡市内で開催される学会や大会、国際会議、展示会などの各種コンベンションを積極的に誘致することで地域の活性化につなげます。

コンベンションは年々都市間の競争が激しくなる中、長岡ならではのまちの魅力と特性をアピールしながら、内外の関係者との連携をより密にするとともに、実態に即し見直しを行った支援メニューを有効活用し、地域経済への波及や交流人口の拡大に努めます。

1. コンベンション誘致活動事業

105万円

(1) コンベンション開催情報の収集

ア 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）からの大会開催情報や、過去の誘致活動で得た情報、他都市での開催状況等をもとに、長岡開催に向け地元の学術機関や事業所等を積極的に訪問し、関係情報の収集を行います。

イ 新潟県観光局、新潟県MICE研究協議会、新潟MICEサポート、東北地区コンベンション推進協議会など関係機関と連携し、MICEに関する情報等の共有を図ります。

ウ スポーツ大会については、長岡市及び長岡市スポーツ協会等との連携により情報収集を進めます。

(2) コンベンション環境の発信

ア 全国規模のコンベンション見本市である国際 MICE エキスポ（IME）及び東北地区コンベンション推進協議会が主催する首都圏合同誘致セミナーへ出展し、来場者に長岡のPRを積極的に行います。

イ 市内のコンベンション施設情報や開催助成金制度等を掲載したパンフレットの他、ホームページを活用し長岡のMICE環境やユニーク・ベニュー等を市内外に発信します。

また、コンベンションカレンダーを作成し、市内で開催されるMICE情報を会員に提供し、ビジネスチャンスの拡大を図ります。

(3) コンベンションの誘致活動

ア 市内の学術機関をはじめとする関係者や、MICE開催に係る首都圏の学会事務局等を中心に訪問し、長岡での開催に向けて、キーマンへのアプローチに努めます。

イ 長岡市やスポーツ団体等との連携を図り、市内での大会や事前合宿に協力します。

2. コンベンション支援活動事業

294万円

(1) コンベンション開催補助金等

主催者の経費負担の軽減をするためコンベンションへの開催補助金を交付します。更に国外参加者

が多く見込めるコンベンションには追加支援します。

また、伝統芸能、アトラクション、エキスカーション、送迎バスの利用に対して助成を行い、心に残るM I C Eとなるよう支援します。

(2) 歓迎看板の設置等

コンベンション参加者への歓迎の意を表すため、一定規模以上のコンベンションは市中心部に歓迎ポスターを掲出したり、新幹線改札口上部に歓迎看板を設置します。

また、独自デザインのコンGRESバッグの他、観光パンフレットを提供し、市内観光や長岡への再訪に繋がります。

(3) 長岡ならではの開催支援

会員と相談しながら、長岡独自のプログラムの創設について検討するとともに、主催者や参加者から大変好評の「長岡の地酒振舞い」を継続します。

(4) M I C E 開催関係者へ個別説明の実施

市内の学術機関をはじめとする関係者を対象に、当協会及び県の開催助成金制度や支援メニューの説明を個別に行い、長岡開催を促します。

(5) 宿泊予約への協力

インターネットサイトを利用しての学会専用プラン造成など、宿泊施設と連携してスムーズな優先宿泊に協力します。

(6) エキスカーションの充実

各種学会や大会の前後に行われるエキスカーションやツアーについて、長岡の歴史や文化、地元の特色を生かした食の紹介など、会員との連携によりニーズに応じたきめの細かいサービスを提供するとともに魅力あるエキスカーションの開発を進めます。

(7) フィルムコミッション支援

ロケーション撮影に伴う本市のイメージアップや、宿泊又は飲食などの直接的及び間接的な経済効果に繋がるよう、県F C協議会と連携したロケ誘致活動を長岡ロケなびと協力して展開します。合わせて、長岡ロケなびの会員拡大活動と広報活動に協力していきます。

[Ⅱ] 観光振興事業

1,140万円(1,200万円)

長岡の主な観光素材である花火・日本酒・錦鯉・火焰土器等を活用しながら、「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」(新潟DC)を契機に、日本海美食旅としての観光誘客に向けて関係市町村と連携し、交流人口の拡大による地域経済活性化を目指します。

	2018年	2019年	2020年
長岡市に 関係する 情勢等	長岡開府400年 戊辰150年 プレDC(10~12月) LCCピーチ就航(3月) 平昌冬季オリンピック	中越大震災15年(10/23) 新潟県庄内エリアDC (10/1~12/31) 新潟開港150周年 34回国民文化祭新潟(秋) ラグビーワールドカップ(9/20~) 新元号(5/1)	長岡花火館(仮)オープン 摂田屋拠点一部オープン 映画「峠 最後のサムライ」 公開 アフターDC(10~12月) 東京オリンピック(7/24~) 佐渡世界遺産登録(仮)

以下、事業内訳は「越後長岡」観光振興委員会事業として当協会が実施するものを含む

1 観光誘客事業

327万円

(1) 観光資源ブラッシュアップの取組み 【一部新規】

長岡の有力な観光素材をブラッシュアップ。新潟県が推進する「日本海美食旅」(ガストロノミー)を取り入れた食素材の提案を2019年新潟DC本番と翌年のアフターDCで実施します。

また、2020年長岡花火館(仮)と摂田屋の観光拠点オープン、映画「峠 最後のサムライ」の公開に対応した観光誘客に取組みます。

(2) 中越地区広域観光連盟・市内観光協会と連携した取組み

中越地区広域観光連盟(長岡市・柏崎市・小千谷市・見附市・出雲崎町)の事務局を運営。2019年新潟DCに向け首都圏等での観光キャラバンなど観光PRを推進します。

2 インバウンド商談会事業

39万円

インバウンド誘客推進に関する取組み 【一部新規】

日本政府観光局(JNTO)の賛助会員としてインバウンド情報を取得し、新潟県や新潟佐渡観光推進機構と連携し、インバウンド商談会等に参加し誘致推進を図ります。

3 観光行事開催・支援事業

278万円

四季のまつりの取組み

「桜まつり」「長岡まつり」「秋まつり」「雪しか祭り」など四季のまつりを関係機関と連携し、

実施・支援します。

4 長岡まつりふれあい広場事業 **380万円**

長岡まつりに関し、長岡花火財団等と連携を深めながら8月2日の昼行事（ふれあい広場）を当協会が主催し観光誘客を図ります。

5 着地環境整備事業 **20万円**

(1) 「越後長岡歴史館・博物館めぐり」の取組み

JR東日本「駅からハイキング」事業と連携し、山本五十六記念館や河井継之助記念館など長岡駅周辺施設を結ぶスタンプラリーを実施します。

(2) シティプロモーション関連の取組み 【一部新規】

ア 「長岡の地酒」を活用し蔵元や販売者、飲食店と連携し「美酒めぐり」や「酒の陣」を実施します。

イ 「米百俵フェス」を活用した誘客支援を実施します。

ウ 「新潟アルビレックスBB」と連携した誘客支援を実施します。

(3) 「えちご雪割草街道」推進の取組み

「国営越後丘陵公園」や「雪国植物園」に加え、柏崎市の「大崎雪割草の里」と連携した誘客促進を図ります。

(4) 二次交通運行の取組み

JR東日本と連携した「駅から観タクン」と「観光貸切タクシー」を引き続き実施します。

(5) 観光レンタサイクルの取組み

市内周遊観光に「観光レンタサイクル」を有料（1回300円）で上期に実施します。

6 観光情報発信事業 **78万円**

(1) 観光素材データ整備の取組み

各地域四季折々の観光素材データを整理・保存し、旅行AGT等へのPR・提供を図ります。

(2) WEB・SNS等による発信の取組み

当協会ホームページやSNSを活用し「長岡の魅力」の情報を発信します。特に観光素材をJNTOのホームページや現地事務所を通じて発信します。

(3) 首都圏等でのPR・イベントキャラバンの取組み

首都圏、関西圏などに向け新潟県観光協会やJR等と協力し、観光PRイベント等に参加します。

(4) ゆかりの地との交流推進の取組み

金沢市や米沢市などとの交流を継続し、双方の観光PRやイベントへの支援を実施します。

(5) 観光商談会を通じた誘致の取組み

観光商談会を中心に、AGTに対して関東圏及び関西圏発の旅行商品化を働きかけます。特に新潟県観光協会大阪事務所と連携し、新潟着団体行程に長岡の立寄りや宿泊箇所を提案します。

7 育成支援事業

18万円

(1) 当協会会員への取組み

観光客等への着地サービス向上のため、「おもてなし講座」を開催します。

(2) 長岡観光ボランティアガイドの会への取組み

おもてなしや知識・技術の向上を図るため、ボランティアガイド研修会等を支援します。

(3) 通訳ボランティア登録と活動の取組み

通訳ボランティア登録者の人員増を目指しながら、活動に伴う支援と育成を図ります。

[Ⅲ] 物産振興事業

39万円(39万円)

県内外で開催されるイベント等で特産品のPRや販売を行い、新たな長岡ファンを創出します。

(1) 首都圏を中心とした物産活動の取組み

長岡の「食」や「匠」を首都圏を中心に物産PRを展開します。

(2) 地域イベントでの物産活動の取組み

各地のまつりやイベント等に出店し、会員の皆さんと連携しながら物産振興に努めます。

(3) JR長岡駅を活用した物産活動の取組み

COCOL長岡の「イベント広場」に臨時出店し物産振興に努めます。

[Ⅳ] 広報宣伝事業

580万円(176万円)

当協会のホームページをリニューアルします。これにより新鮮な情報提供が可能となり観光及び

イベント情報など効果的に発信し、交流人口拡大に努めます。

また、「FMながおか」で、毎週1回長岡地域の最新情報を引き続き発信、新聞、雑誌等も活用し、観光情報などを積極的にPRします。

[V] 観光プラザ等運営事業	1,127万円(1,021万円)
-----------------------	-------------------------

1 観光プラザ運営事業	281万円
--------------------	--------------

協会会員の物産販売と企業PRをはじめ、各地域の観光情報及び「まちの駅」として、地域に密着した情報を提供してきましたが、2019年9月をもって終了とします。

2 長岡駅観光案内所運営事業	846万円
-----------------------	--------------

公共交通機関を利用し来訪される観光客等へ、長岡の表玄関としての確かつ迅速な観光情報を提供します。

また、英語を話せるスタッフを駐在させるとともに、外国語版の観光パンフレット等を用意し、利便性を高めます。TIC TOKYO(東京駅日本橋口のインバウンド案内所)との連携により、首都圏の情報及び県内の案内所とのネットワーク化を進め、外国人観光客の利便性や誘客促進に努めます。

[VI] お土産品販売事業	970万円(1,800万円)
----------------------	-----------------------

平成19年5月22日オープン以来、来訪者に長岡ならではの土産品を提供してきましたが、「まちなか観光プラザ」閉鎖に伴い、お土産品販売事業を終了します。

[VII] 長岡駅陳列ケース運営事業	130万円(130万円)
---------------------------	---------------------

陳列スペースを有効活用し、特産品及び観光情報を効果的に発信します。

[VIII] 観光客受入れ関係事業	154万円(167万円)
--------------------------	---------------------

中越文化・観光産業支援機構の一員として物品の維持管理を行い、その事業が観光誘客に繋がるように協力を行います。

1 財政基盤の強化（協会会員の勧誘）

事務局による勧誘はもとより会員の紹介などにより、組織的に会員増に努めます。また、広域観光を推進するために、各地域の企業からも会員になってもらえるよう勧誘活動を行います。

更に、ホームページのバナー広告など、独自財源の確保を行います。

2 事業計画立案、事業推進の強化

理事会及び専門部会での協議をもとに事業を企画立案し、積極的に事業を推進します。